

2014年11月20日
(CPP-1411-A)



株式会社アバールデータ

2015年3月期 第2四半期決算説明会

AVALue+

2014年11月20日

株式会社アバールデータ
厚木事業所

1. 会社概要
2. 2015年3月期 (第56期) 第2四半期業績報告
2015年3月期 (第56期) 業績予想
3. 2014年 中期経営計画概要

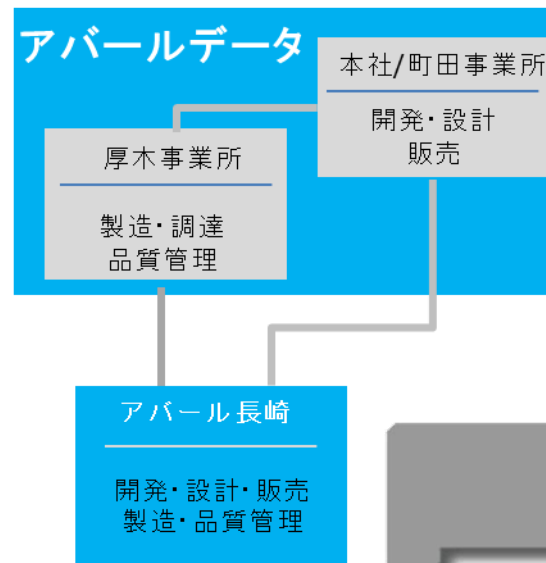
株式会社アバールデータ 会社概要



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

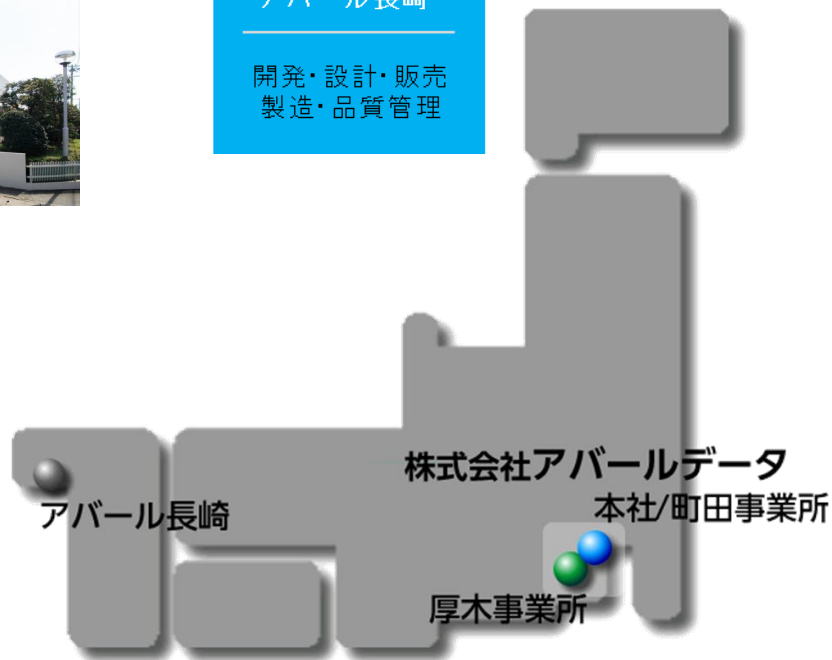
株式会社アバールデータ

- ★本社・町田事業所 東京都町田市
- ★厚木事業所 神奈川県厚木市
- ★設立 1959年8月
- ★資本金 23億5409万円
- ★従業員 175名
- ISO9001認証取得 (1995年)
- ISO1401認証取得 (2001年)
- 土地面積 6,426m²(町田 1,977m² 厚木 4,449m²)
- 延床面積 6,934m²(町田 2,957m² 厚木 3,977m²)



株式会社アバール長崎

- ★本社 長崎県諫早市
- ★設立 1987年11月
- ★資本金 1億3400万円
- ★従業員 125名
- ISO9001認証取得 (1996年)
- ISO1401認証取得 (2006年)
- 土地面積 8,885m²
- 延床面積 3,655m²



- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立
- 1979 ● 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラム「Pecker」を開発・発表
- 1987 ● 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更
- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録(現 東証JASDAQ)
- 1996 ● (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化
- 2002 ● 高速光通信Giga Channelを独自企画、販売開始
- 2007 ● PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組込みと単体のサンプル出荷開始
- 2010 ● (株)アバール長崎:「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始
- 2010 ● PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組込み開始
- 2011 ● 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始
- 2012 ● 超高速光通信カメラインターフェースOpt-C: Linkを独自企画、販売開始
- 2013 ● 「医療機器製造業許可:一般」の許可取得
- 2014 ● カラー光切断法による三次元形状測定システム、開発

アバールデータ
厚木事業所



表面実装ライン



- ★表面実装ライン:5ライン
- ★大量生産～変量多品種生産まで対応
- ★環境対応製品製造
- ★医療機器製造業許可

アバール長崎



表面実装ライン





本社・町田事業所
(開発設計・販売)

厚木事業所
製造技術
品質管理
生産管理

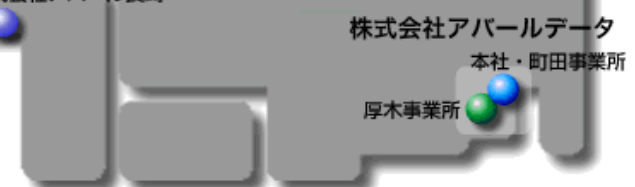
**アバール
長崎**

協力会社



(株)アバール長崎

株式会社アバール長崎



株式会社アバールデータ
本社・町田事業所
厚木事業所

●表面実装ライン

- ・厚木事業所 : 2ライン高付加価値,多品種変量生産ライン
- ・アバール長崎 : 3ライン少量~中, 多量生産オールラウンドライン

アバールデータの関連事業分野と利用製品

世の中の身近な製品につながるアバール製品

アバールデータ製品 (グループ)

CPU モジュール
画像入力ボード
スマートカメラ
CTI ボード
スマート電源

アバール製品が組込まれる装置 (製造装置等)

半導体製造装置
産業用ロボット
分析装置
通信機器・CTI
検査装置
電力・省エネ

アバール製品が組込まれた装置から生産される様々な製品

太陽電池
ノートパソコン
タブレット
スマートフォン
自動車

産業用装置の
要求に応える製品

信頼性
止まらない

高速性
大容量データ

長期供給
製品寿命

様々な使用環境

24 時間フル稼働

長期間運用

工場・公共施設など
使用環境からの要求

「組み込み」製品の使用例

産業用装置は、様々な機能の製品が組み合わされて構成されます。

頭脳に相当するもの



CPU モジュール

神経に相当するもの



光通信ボード



目に相当するもの

カメラ



画像処理ボード



組み込みモジュール

組み込み分野で業界をリードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機で活躍しています。

画像モジュール

画像処理ボードで国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使用します。

計測通信機器

産業用通信で最高速を誇るGigaチャネル



機器間の高速通信に使われます。

国内市場をリードするCT技術と製品



FAX,コールセンター等で使われています。



スマートパワーシステム

当社製品の応用例(組み込みモジュール)

当社製品



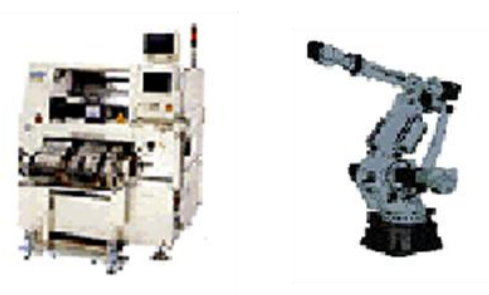
当社製品の応用例



半導体製造装置



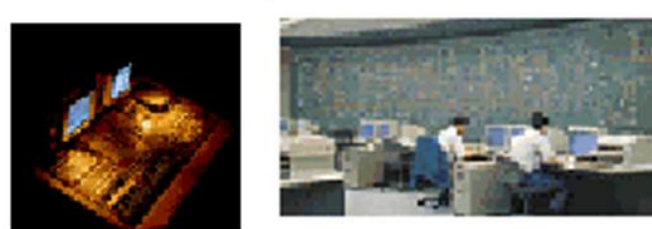
基板製造装置/ロボット



医療機器



システム制御装置



当社の社会的責任への取組み(環境・社会的貢献)

製品の設計

- 環境対応製品
- 製品開発
 - 有害物質排除
 - 省エネ設計

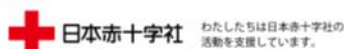
REACH
含有有害物質

製品の製造

- 環境対応工場
- 工場・ものづくり
 - 有害物質排除
 - 省エネ製品

BCP
事業継続計画

社会的貢献



- 地震等大規模災害支援
 - 日本ユニセフ協会への寄付
 - 日本赤十字社への寄付
 - 自治体等への寄付
- 地域のクリーンキャンペーン参加

環境への取組み

- 太陽光発電の導入
- 環境保護
 - CO₂削減
 - 省エネ・省資源



2014年11月20日

(CPP-1411-2A)

株式会社アバールデータ

AVALue+

2015年3月期（第56期）
第2四半期

業績報告・業績予想

2015年3月期（第56期）業績報告

[期間：2014年4月1日-2014年9月30日]

2015年3月期（第56期）業績予想

[期間：2014年4月1日-2015年3月31日]

計画における数字は9月19日開示の業績修正の数値を使用しております。

 AVAL DATA CORPORATION

2014年3月期上期を100として半期比較

品目		期	2014年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2015年3月期
			上期実績 (1Q~2Q)	下期実績 (3Q~4Q)	上期実績 (1Q~2Q)	下期計画 (3Q~4Q)
セグメント	自社製品	組込モジュール	100	88	83	102
		画像処理モジュール	100	119	143	151
		計測通信機器	100	105	89	96
		自社製品関連商品	100	100	100	91
		自社製品小計	100	103	100	109
	受託製品	半導体液晶装置関連	100	142	92	103
		産業用制御機器	100	95	93	103
		計測機器	100	126	161	233
		受託製品小計	100	131	104	126
	売上合計		100	121	103	120

2015年3月期 第2四半期 業績(連結)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

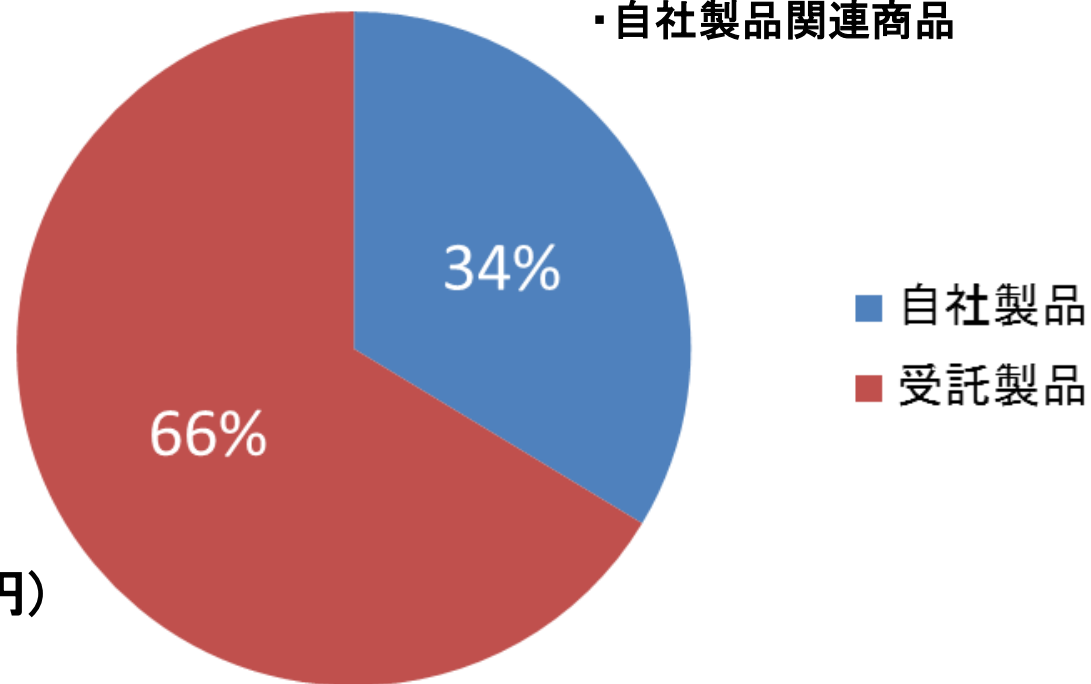
項目		第56期2014年4-9月期 (第2四半期累計)実績		第56期2015年3月期 (通期)計画	
品目	品目	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	195	△ 17.6 %	435	△ 1.7 %
	画像処理モジュール	308	42.4 %	635	34.4 %
	計測通信機器	374	△ 11.2 %	780	△ 9.9 %
	自社製品関連商品	94	△ 0.0 %	180	△ 4.1 %
	小 計	971	0.3 %	2,030	3.1 %
	セグメント利益	137	△ 20.1 %	—	—
受託製品	半導体製造装置関連	1,090	△ 8.4 %	2,315	△ 19.6 %
	産業用制御機器	293	△ 6.6 %	615	0.3 %
	計測機器	531	60.8 %	1,300	74.6 %
	小 計	1,914	4.4 %	4,230	△ 1.0 %
	セグメント利益	199	0.4 %	—	—
売上合計		2,885	3.0 %	6,260	0.9 %
営業利益		100	△ 15.2 %	345	△ 19.8 %
経常利益		122	△ 21.0 %	385	△ 19.8 %
当期純利益		78	△ 17.7 %	235	△ 22.0 %

(注) 連結各セグメント利益合計336百万円と営業利益100百万円との差額236百万円はセグメントに属さない全社費用等。

セグメント別売上比率(2,885百万円)

自社製品(971百万円)

- ・組込みモジュール
- ・画像処理モジュール
- ・計測通信機器
- ・自社製品関連商品



受託製品(1,914百万円)

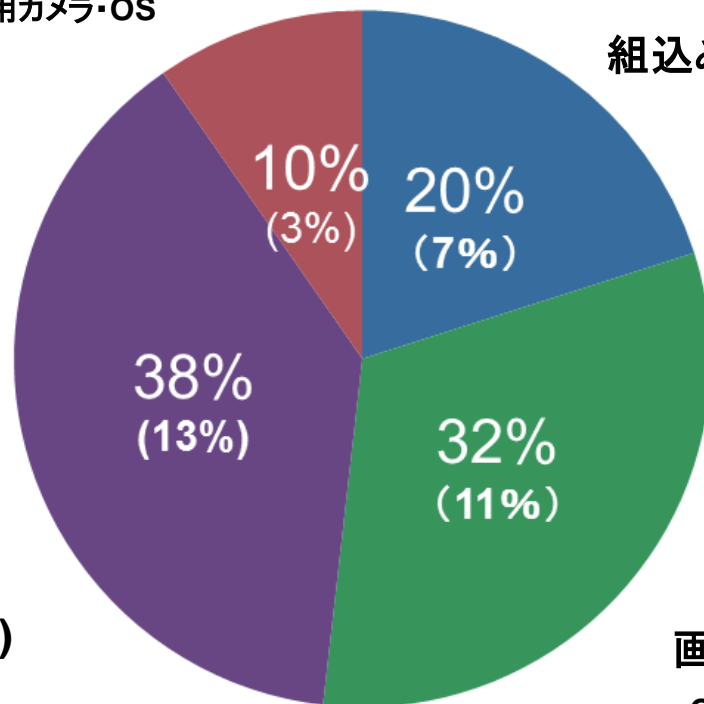
- ・半導体製造装置関連
- ・産業用制御機器
- ・計測機器

グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

自社製品売上比率(971百万円)

自社製品関連商品(94百万円)

産業用カメラ・OS



組み込みモジュール(195百万円)

CPU・アナログ製品

- 組み込みM
- 画像処理M
- 計測通信機器
- 商品

計測通信機器(374百万円)

光通信(ギガチャネル)

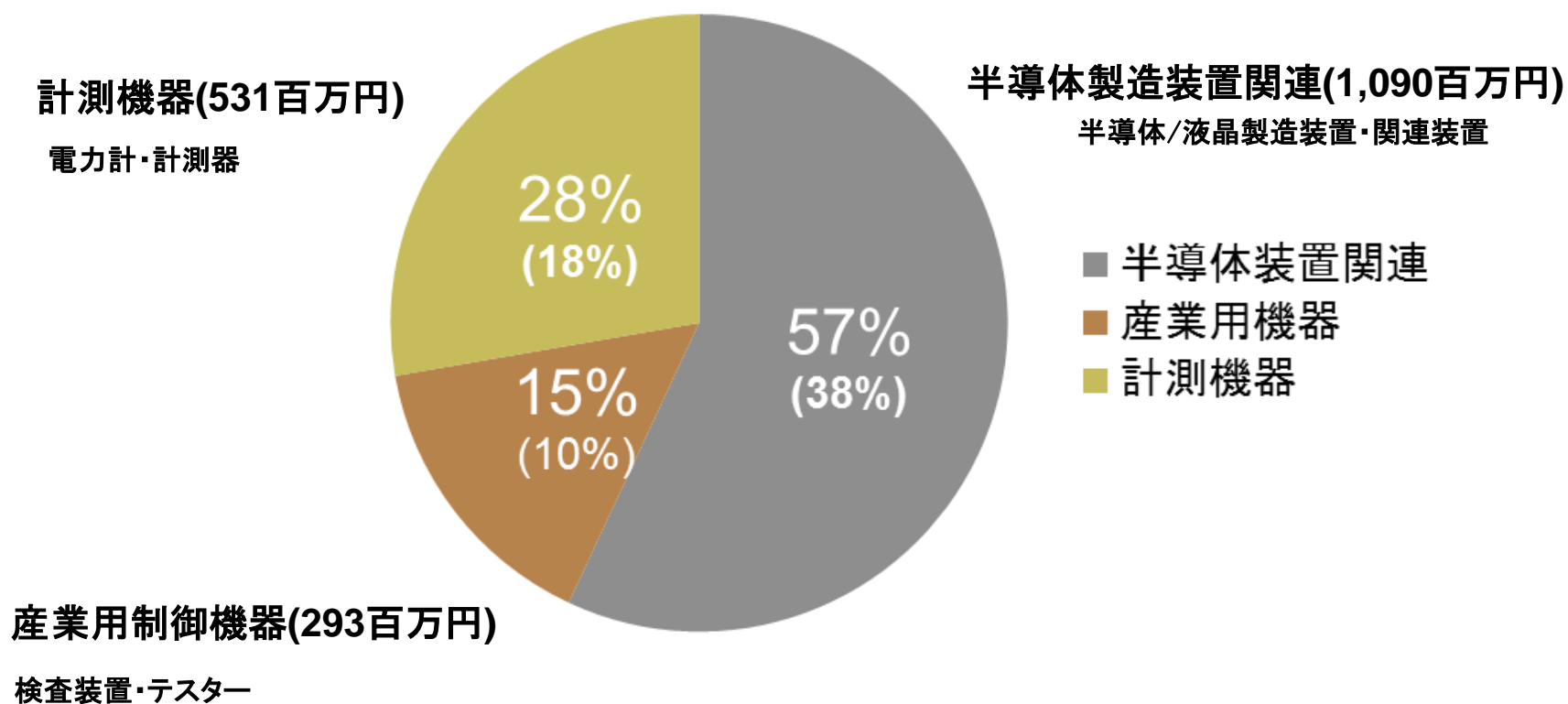
CTI (ファックスサーバー)

画像処理モジュール(308百万円)

Camera I/F・CoaxPress・GigE

グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

受託製品売上比率(1,914百万円)





組込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般は下降局面、電力・医療分野の新規受注に、注力。

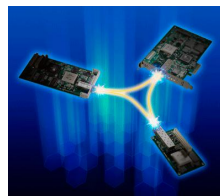
→売上高 195百万円(前年同期比17.6%減)



画像処理モジュール分野(自社製品)

- 新製品の立ち上がりに加え、新分野での営業開拓が順調に進んだ一方、FA全般及び液晶関連装置ははまだ本格的な回復に至らず。

→売上高 308百万円(前年同期比42.4%増)



計測通信機器分野(自社製品)

- 第2四半期に至り、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、停滞。

→売上高 374百万円(前年同期比11.2%減)

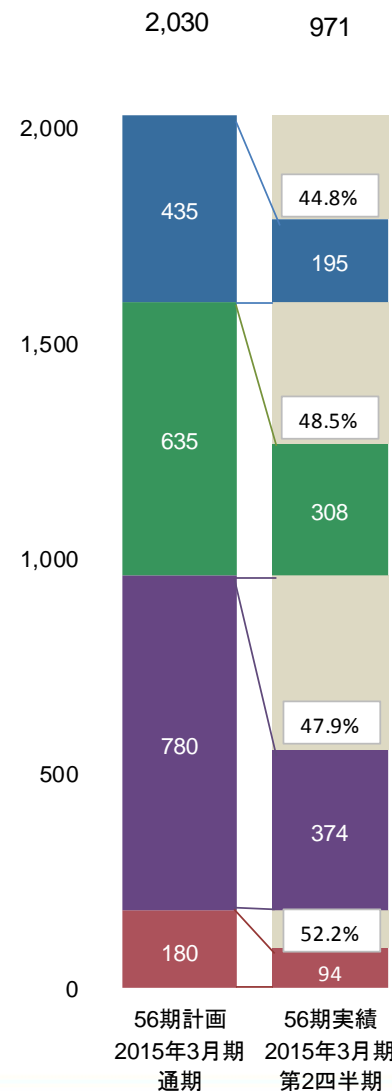


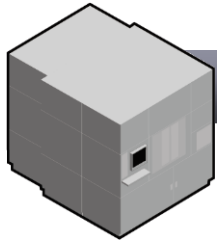
商品(自社製品関連)

- 自社製品関連商品は自社製品の本格的な回復遅れており、売上高は大幅に減少。

→売上高 94百万円(前年同期比0.0%減)

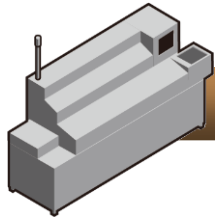
2,500





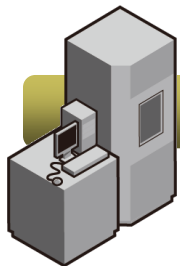
半導体製造装置関連分野(受託製品)

- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続き、最先端の半導体製造装置への設備投資により、受注は回復傾向。
- 第2四半期からの生産面での調整のため、売上高は減少
→売上高 1,090百万円(前年同期比8.4%減)



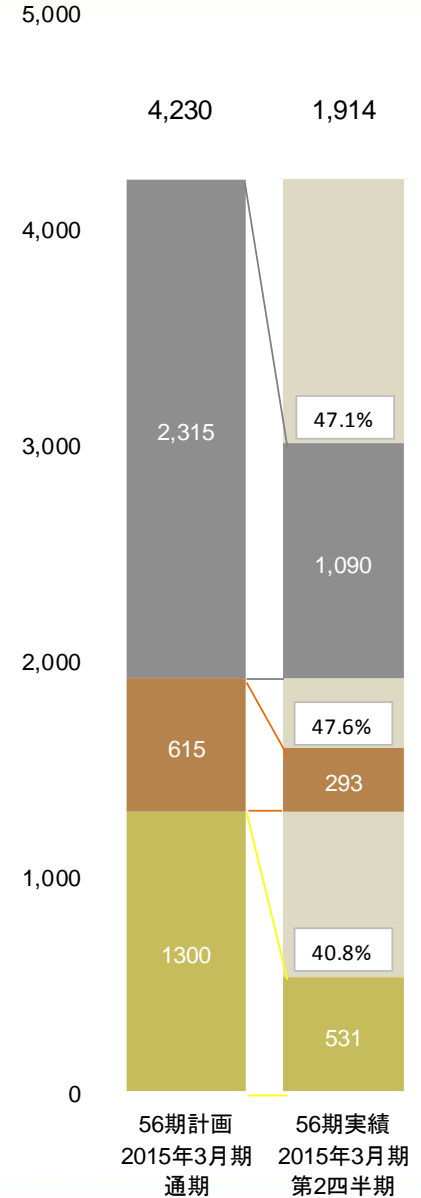
産業用制御機器分野(受託製品)

- 各種の産業用検査装置の受注は回復基調。
- 社会インフラ関連の受注が減少。
→売上高 293百万円(前年同期比6.6%減)



計測機器分野(受託製品)

- 各種計測機器の受注は回復傾向。
- 省エネ機器関連の立ち上がりにより、売上高は大幅に増加
→売上高 531百万円(前年同期比60.8%増)

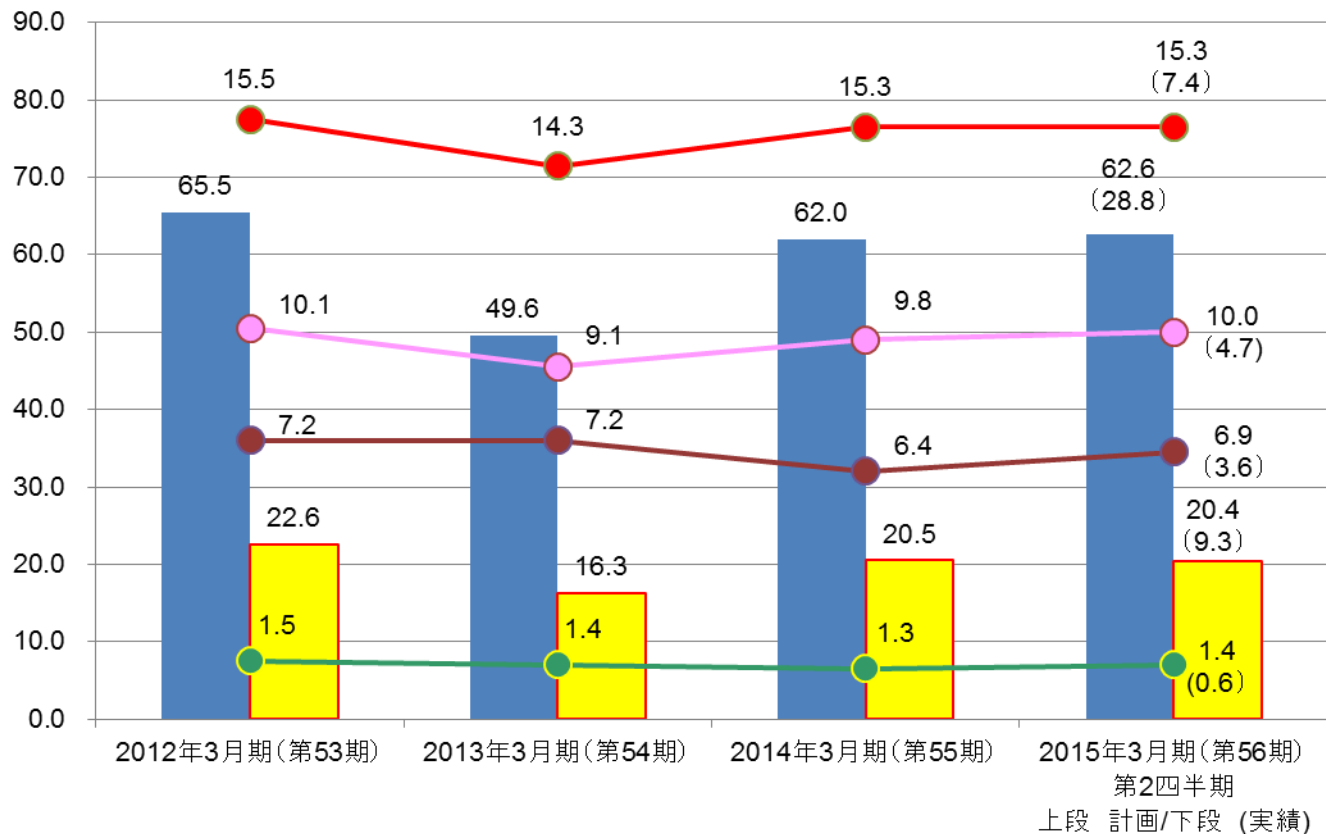


2015年3月期 第2四半期 業績(経営成績)

単位:億円

売上
売上総利益

単位:億円



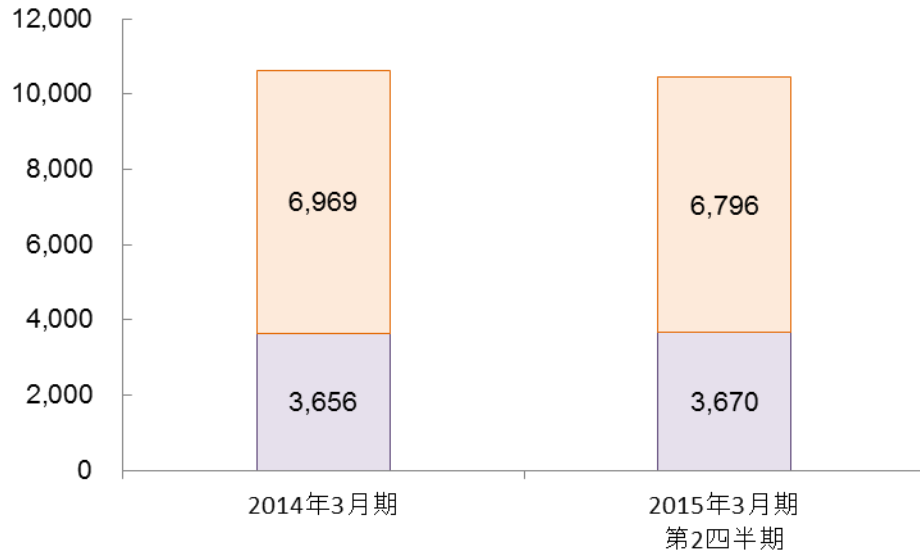
単位:億円

労務費
販売費 (R&D除く)
研究開発費 (R&D)
減価償却費

➤ 自己資本比率 78.4% +2.4ポイント向上

資産の部 10,466 Δ 159

□ 固定資産 □ 流動資産

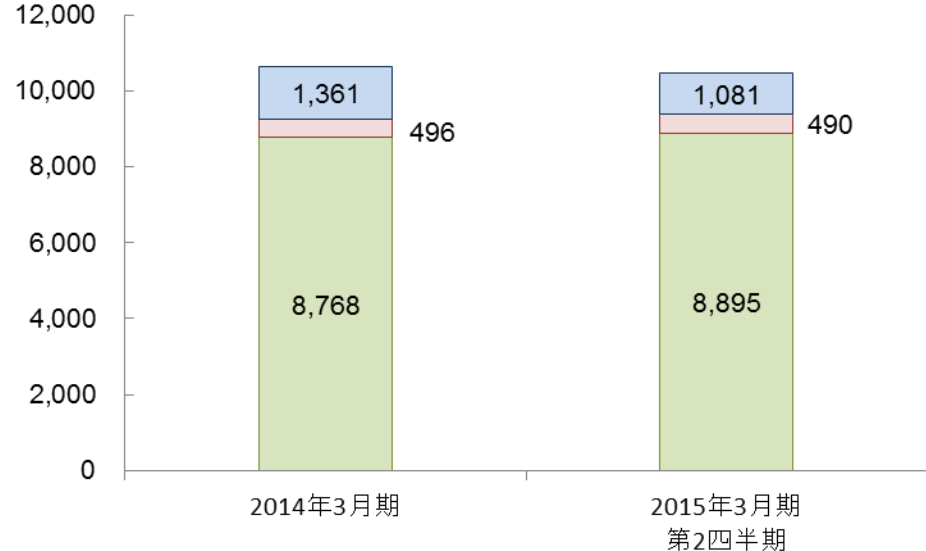


主な増減

流動資産	Δ 173
現金預金	Δ 30
受取手形・売掛金	Δ 191
棚卸資産	76
固定資産	13
投資有価証券	57
固定資産	Δ 42

負債及び純資産の部 10,466 Δ 159

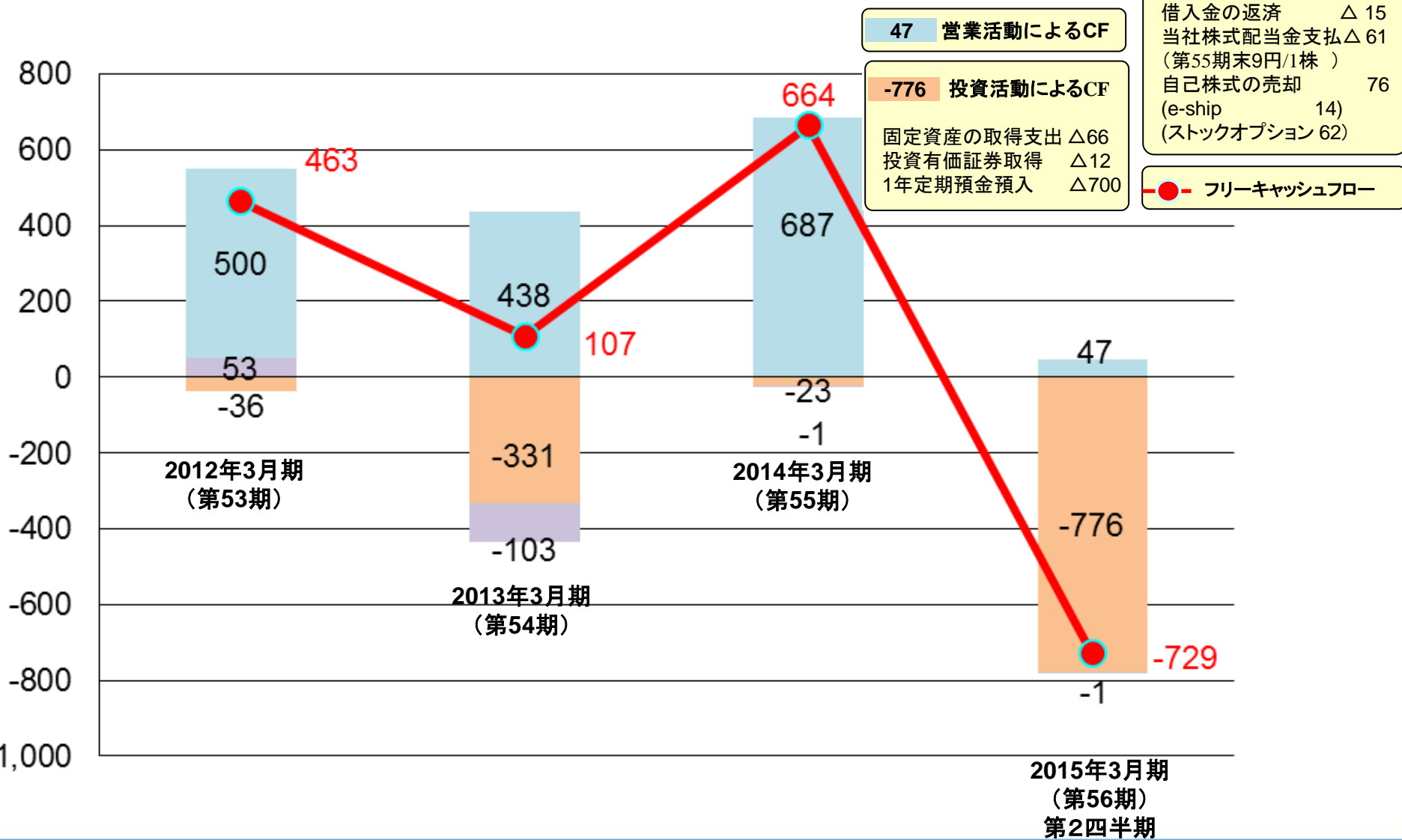
■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



主な増減

流動負債	Δ 280
未払法人税等	Δ 168
賞与引当金	Δ 65
未払金・未払費用	Δ 58
固定負債	Δ 6
長期借入金	Δ 15
純資産	127

2012年3月期(第53期) - 2015年3月期(第56期) 第2四半期



既存製品のシリーズ強化と利便性追求

組込

Intel 超高速MPUボード シリーズ化

APC-140シリーズ

小型プラットフォームASB・ASIシリーズ



画像

超高速画像処理ボード

APX-3326/APX-3327他



次世代カメラインターフェース 製品強化

CoaXPress対応APX-3664



通信

更なる高速化/ローコストシリーズ実現

16Gbit/秒 APX-782,AGM-782, APX-941 LP4

28Gbit/秒 APX-7142



テーマより高速により精細に！

新規分野への挑戦

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇔デジタル変換ボード

APX-5040・APX-5050

APX-5200 シリーズ化



Opt-C:Link

光I/F グラバーボード

APX-3800・APX-3881



スマートグリッド

インテリジェント電源 大容量シリーズ

スマートパワー・システム



その他

スマートラインカメラ AMLシリーズ

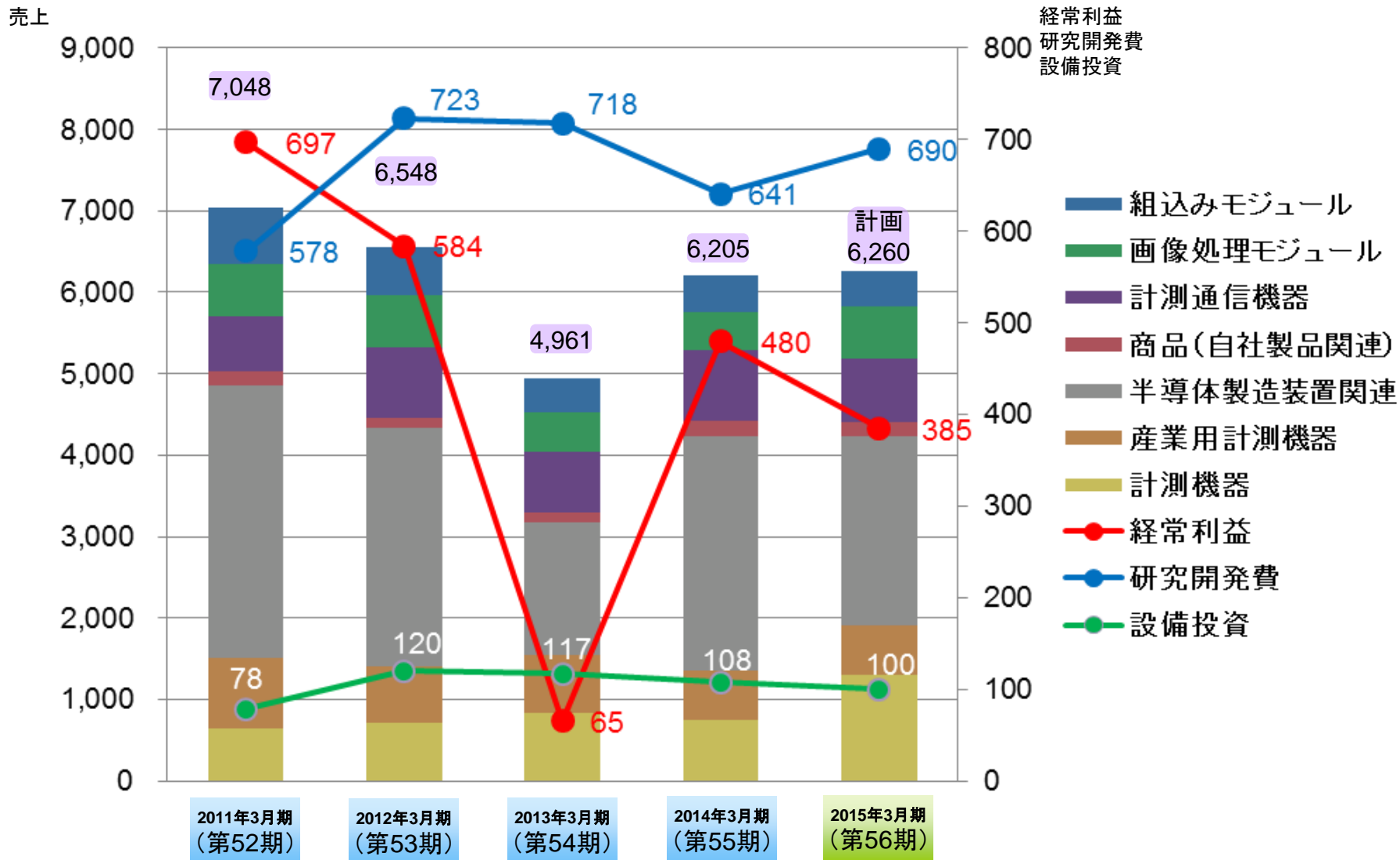
スマートエリアカメラ AMAシリーズ

FPGA-IPライブラリ シリーズ化

売上・利益・投資の推移－実績と予想

単位：百万円

2011年3月期(第52期)－2015年3月期(第56期:予想)



2014年11月20日

(CPP-1411-3A)

AVALue+

2014年中期経営計画概要

2015年3月期(第56期)－2017年3月期(第58期)

AaA

actionandachievement

実行と実現

計画における数字は9月19日開示の業績修正の数値を使用しております。

 **AVAL DATA CORPORATION**

組込み市場の変化への対応

AaA

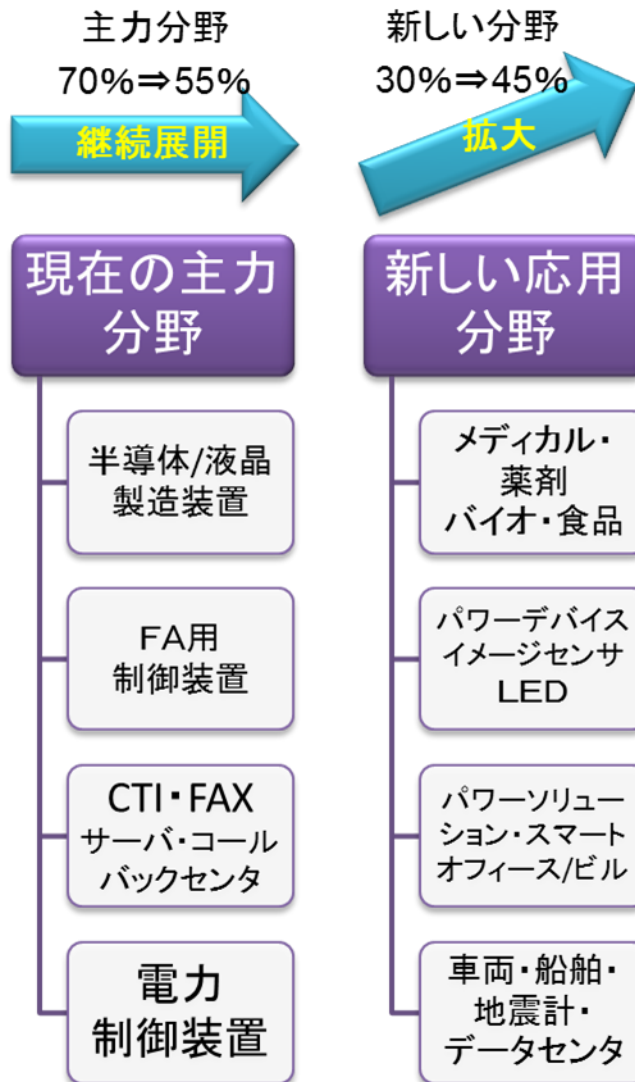
action and achievement

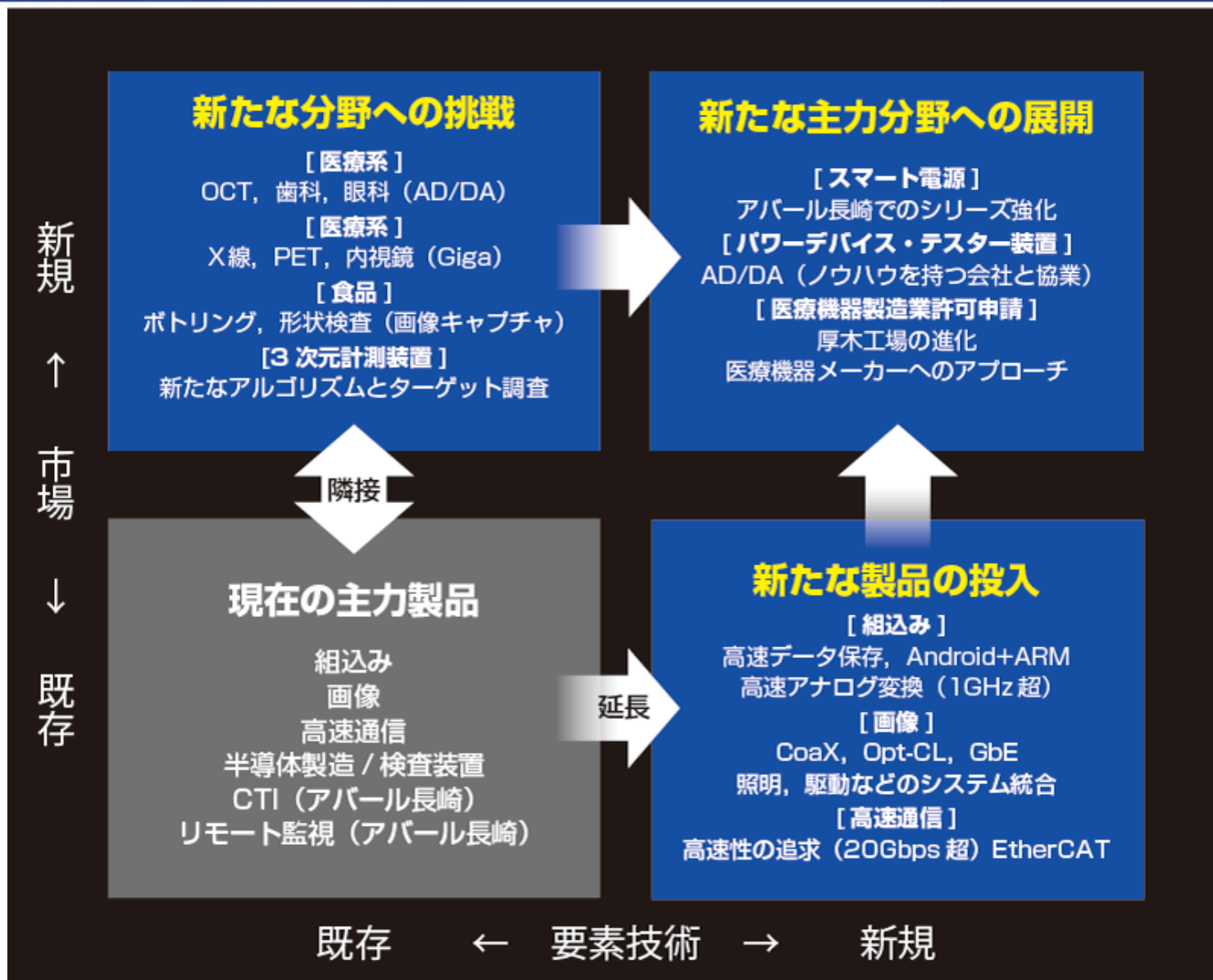
実行と実現

差別化された新製品

パートナーとの協業

トータルシステムの提供





アバールグループの新たな飛躍

AVALue+
強い体質を維持・攻めの経営へ

成長事業の確立

- 製品の差別化・高付加価値強化
- 新分野と新製品の売上向上

体質強化

- 積極的研究開発投資と効率化
- スリムな企業体質

生産性の最大化

- 多様な生産体制の導入
- 業界トップの品質とコスト追求

連結
売上

80億円

経常
利益率

11%

ROE

10%

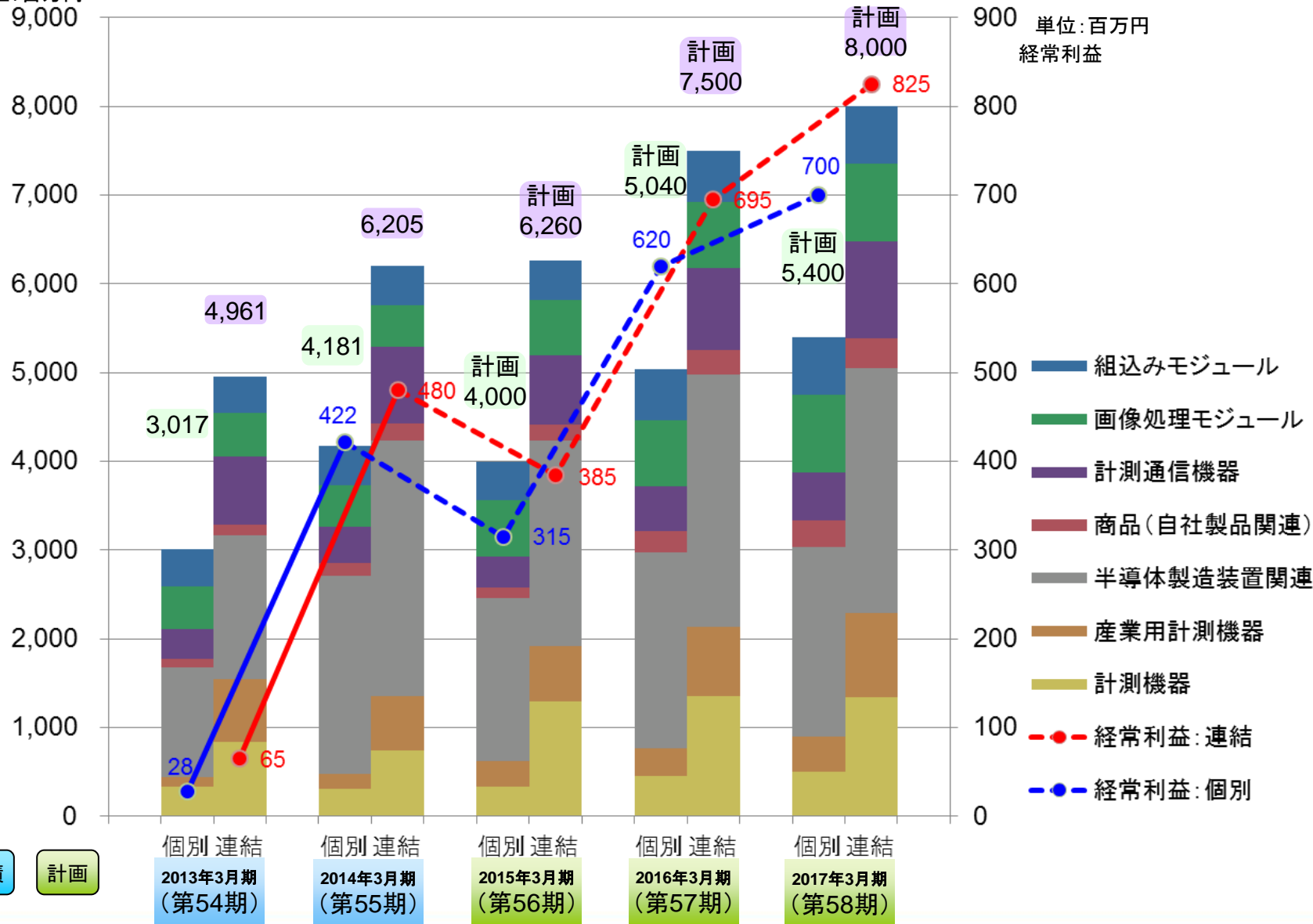
配当
性向

30%

中期品目別売上・経常利益予想

単位:百万円
売上 9,000

単位:百万円
経常利益 900



実績 計画

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。

<http://www.avaldata.co.jp>